

2025年11月12日

各 位

SBIホールディングス株式会社

シンガポールのGFTNとのグローバルなフィンテック関連企業に投資する 共同ベンチャーファンド設立のお知らせ

SBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：北尾 吉孝、以下「当社」）は、シンガポール金融管理局（Monetary Authority of Singapore、以下「MAS」）の下に設立された組織であるGlobal Finance & Technology Network（本社：シンガポール、グループCEO：Sopnendu Mohanty、以下「GFTN」）と共に、フィンテックならびにその関連分野のグローバルな成長ステージ企業に投資する共同ベンチャーファンド（以下「本ファンド」）をシンガポールにて設立することで合意いたしましたので、お知らせいたします。

GFTNは、2025年に第10回を迎える世界有数のフィンテックフォーラムで、2024年には13ヶ国から65,000名超の参加者を集めた、Singapore Fintech Festival（以下「SFF」）のオフィシャル・パートナーとして、フィンテック業界の国際的な連携と知見共有を推進している団体です。GFTNのグローバルCEOは、MASの初代Chief Fintech Officerが務める等、MASと緊密な協力関係を有しています。

本ファンドは、総額2億米ドルまで資金を調達し、デジタル金融インフラ、ペイメントをはじめとするフィンテック、人工知能、デジタルアセット、サイバーセキュリティ、その他金融アプリケーションに応用される新興技術等の分野のグローバルな成長ステージ企業への投資を目的としています。

また、MASが主導するシンガポールを拠点としたデジタル金融エコシステムの拡大を進めるなかで、SBIグループは本ファンドを通じて、GFTNと共にアジア・グローバルにおけるフィンテックの成長と国際協業を進め、革新的なフィンテック企業の成長支援を加速してまいります。

尚、本ファンドは当社の子会社であるSBI Ven Capital Pte. Ltd.（本社：シンガポール、代表：宗英一郎）が運用いたします。

◆SBIグループについて

1999年創業のSBIグループは、日本におけるインターネット金融サービスのパイオニアとして、証券、銀行、保険分野を中心にインターネットを通じてより低価格で利便性の高い商品やサービスを提供する金融サービス事業を運営しているほか、資産運用事業、PE投資事業、暗号資産事業、次世代事業をグローバルに展開するインターネット総合金融グループです。

投資事業においては、米国のRipple社やR3社など世界的に有名なDLT（分散型台帳技術）に関連した企業への投資実績を持つほか、2025年9月末時点で1兆143億円の運用資産残高を保有し、アジアの金融およびテクノロジー業界のベンチャー企業の成長と成功を支援してきた実績があります。子会社であるSBI Ven Capitalは、シンガポール金融当局（Monetary Authority of Singapore）より認可を受けた資産管理会社として、2007年の設立以降、主に東南アジアや南アジアの企業への投資を実施し、2025年9月末現在で3.53億米ドル*の資産を運用しております。

◆GFTNについて

GFTNは、MASによって2024年に設立された、シンガポールに本部を置く組織です。東京とベルリンにもオフィスを構えるGFTNは、政策、資金、テクノロジーを結びつけ、効率的かつ包括的な金融システムを構築することを使命としています。GFTNは、子会社であるGFTN Servicesと

GFTN Capitalを通じて事業を展開しています。GFTN Servicesは、GFTN Connectを通じて5大陸で世界的なフォーラムを開催し、130カ国以上から市場参加者や政策立案者を集めています。また、GFTN Solutionsは、政府および民間セクターに対し、包括的なアドバイザリーサービス、テクノロジーソリューション、能力開発支援を提供しています。GFTN Capitalは、世界中の成長段階にあるフィンテック企業に投資するベンチャーキャピタルファンドです。詳細については、www.gftn.coをご覧ください。

*MASが2025年7月2日に公表した新しいガイドラインに沿い、2025年9月末から計算方法を変更しております。

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126